

岡嶋狂花

さかじま きやうか

小説家、歌人、美術評論家。明治十五年四月五日留

山縣井波町生れ、昭和十一年四月五日歿（一八八一—一九三三）。本名敬治。

筆名葉山葉太郎。慶應義塾大醫學部教授、解剖學專攻、醫學博士。

明治二十二年、小説「合歡花」を雑誌「新聲」に發表、へ花袋流の作

意、可憐の情趣あふくの評を受く。その後と學業の傍ら、「文庫」、

『中世美術』、『二田文學』等の小説、戯曲、詩、美術評論を執筆。

また譯詩集『ロレシシングの詩』（明治四十三年四月十日讀賣新聞社）、

『現代の西洋繪畫』（大正四年九月二十五日丙午出版社）を著す。

歿後『岡嶋狂花著作集』（岡嶋光三編、昭和十二年九月十日仁誠堂書店）

店）に大方の文藝作品を収録。

